

## 各大臣賞 受賞企業・団体に現場訪問

環境大臣賞、文部科学大臣賞を受賞されました企業・団体の現場へ、地域地球温暖化防止活動推進センターのスタッフと共に、視察させて頂きました。現場に触れると共に、現場担当者との意見交換や質疑応答を通じ、脱炭素化に向けての優良な取組として、今回は4団体を紹介します。

### 環境大臣グランプリ モリショウグループ

今回グランプリを受賞されましたモリショウグループ(大分県日田市)を訪問させて頂きました。

資源循環型の木質バイオマス発電の最前線の現場を見学しました。代表取締役の森山様からは、大分県日田市での林業や、御社のこれからの展開についてお聞きしました。これからも、事業が地域社会の貢献に繋がることをビジョンとして、森林再生、雇用創出、安定電源エネルギー等で、業界の中でも新しい時代に向けて先導しつつ常にチャレンジし続けるとのことでした。大分県日田市の林業、これからも注目していきます。



### 環境大臣金賞(学生部門) 学校法人誠心学園浜松開誠館中学校高等学校

環境大臣賞金賞(学生部門)を受賞されました学校法人誠心学園浜松開誠館中学校高等学校(静岡県浜松市)を訪問させて頂きました。実際に活動している生徒達へ、対面でインタビューをしました。生徒達は、私からの質問に対して、自分の言葉でしっかりと答えてくれました。プレゼン力はもちろんのこと、自分事として物事を捉えており、解決に向けて今何を行うべきかということがしっかりと伝わりました。今後は、全国の学生と繋がりSDGsをはじめ環境問題の解決に向けて輪を広げていきたいとのことでした。静岡発!気候マーチ!可能性は無限大です。今後の活動の展開に期待です。



### 環境大臣金賞(ジュニア・キッズ部門) 八尾市曙川小学校

環境大臣賞金賞(ジュニア・キッズ部門)を受賞されました八尾市曙川小学校(大阪府八尾市)を訪問させて頂きました。

エネルギー教育モデル校の認定をきっかけに、ホテルを育てるピオオープン作りや、ソーラーカー製作など、子供たちとともにプロジェクトを実施している現場を見学。様々なプロジェクトの根幹には、「あきらめなければ、夢は叶う」があり、子供たちが発案したことを地元の高校生や地域の方々が生かして、先生をはじめ関わっている方々の連携による賜物と思われました。

学校と、地域や保護者との距離感がとても近く、子供たちへの教育にも好影響を与えていました。

これからも地域との新たな取組に期待です。



### 文部科学大臣賞(社会活動分野) 飯山市雪エネルギー検討会議

文部科学大臣賞(社会活動分野)を受賞されました飯山市雪エネルギー検討会議を訪問させて頂きました。

見学した雪室は、天然の雪による貯蔵量の大きさに圧倒され、庫内は、1~3℃、湿度98~100%による体感を経験できました。雪室を活用している「飯山そば振興研究会」の方々からは、豪雪地域である飯山市は人口減が進んでおり、その対策として、次世代の雇用創出や、飯山市のブランド製品の開発など行っているとお聞きしました。取組の1つとして、飯山雪室熟成そばが商品化され、近日中には一般販売が開始されるとのこと。地元の天然資源を利用したエネルギー利用の取組であり、持続可能な地域づくりに向けてのビジネスへの展開に、これからも注目です。

